
こんにちは！ 新型コロナウイルス（COVID-19）感染は、なかなか収まりませんね。この病気の厄介なところは、自覚症状が出ない場合があり、感染していてもわからないままに、重症化リスクの高い人につつしてしまう可能性があるところ
です。今一度、うつらない、うつさないための一人ひとりの行動が大切だと思います。正しいマスクの着用、人と人との間隔は2m以上開ける、手指消毒や手洗いがい、換気が悪く人の多い所は避ける……。人類はいつの時代もウイルスと闘い、乗り越えてきた歴史があります。自分を守り、他人を思いやる優しさで、きつと今の状況も乗り越えていけると信じ、共にがんばりましょう！



【砂糖菓子のひとつ】
お下がりで、いただくのが嬉しかった。

さて、八月と言えばお盆ですね。私は子どもの頃夏休みの大半を母の実家である西吉野で過ごしました。お盆になると、お仏壇の周りはお供え物でいっぱいになり、お線香のにおいと鈴（りん）の音に包まれたことを思い出します。お墓参りに持って行く、色とりどりの砂糖菓子も懐かしいですね。私は一人っ子なので、伯父や伯母、いとこがたくさん集まって、賑やかに食卓を囲むことが嬉しかったです。何より楽しかったのは、母や伯父たちの子どもの頃の話聞くことです。山を越え遠い親戚の所まで使いに行かされたとか、手伝いをさぼって怒られたとか。そんな話を穏やかに聞いている祖父母の、違う一面を垣間見ることができて面白かったです。ご先祖様についての具体的な話は、記憶にないのですが、自分へと続いている命のつながりを感じる心地よい時間でした。

お盆には、ご先祖様が帰って来られるとか、地獄の釜が開くとか……。一年であの世とこの世がぐっと近くなる時期です。今年はステイホーム。目を閉じて、たっぷり息を吸い込み、想像の翼を広げることで、命のつながりを感じたい八月です。
(館長 大谷華代子)

講座案内 夜の学び ～世にも奇妙な★日本霊異記～

暑い夏の夜、世にも奇妙奇天烈摩訶不思議な昔話を聞いてみませんか？
平安初期、薬師寺の景戒（きょうかい）というお坊さんが編んだ、日本最古の仏教説話集『日本霊異記』には、奈良時代の奇妙なお話がたくさんあります。
その中から、当時の人々の生活やいにしへの奈良を掘り下げます。

- と き 8月28日（金）19時～20時30分
- 講 師 薬師寺本坊主事、唯識学寮研究員 高次 喜勝さん
- 会 場 都跡公民館 2階大会議室
- 対象・定員 奈良市在住の18歳以上20人（在勤・在学も可）
- しめきり 8月18日必着 ※申込多数の場合抽選



★申込方法★

- ①往復はがきに講座名「夜の学び～世にも奇妙な★日本霊異記～」、住所、氏名、電話番号を記載の上、都跡公民館〔〒630-8032 奈良市五条町 204-1〕まで
- ②奈良市生涯学習財団ホームページ http://manabunara.jp/contents_detail.php?frmId=10641 より参加申込フォーム
その他、FAX可〔FAX34-5954〕（FAX受信可能な方）。窓口でのお申込みの際は、はがき（63円）をお持ちください。



奈良市生涯学習支援サイト <http://manabunara.jp>

「館長が語る」「公民館だよりバックナンバー」など都跡公民館のページを見てね。



ふれあい「都跡」の宝



『都跡村』について

明治二十二年(1889年)四月一日に町村制の施行により添下郡のうち、佐紀村・尼ヶ辻村(前年に興福院村・斎音寺村が合併)・北新村・横領村・南新村・五条村・六条村・砂村・七条村の九ヶ村が合併し、奈良県添下郡都跡村が成立しました。

その後、明治三十年(1897年)に奈良県生駒郡都跡村に名称変更されましたが、昭和十五年(1940年)十一月三日に奈良市に合併されるまで五十一年七か月間継続しました。「奈良市史」によると、合併には奈良市側が積極的だったようです。

今年(2023年)は都跡村が成立してから百三十二年目、奈良市に合併して八十年目になります。

合併時(1940年)の人口は4,192人、(現在の人口約30,000人)、面積は約10平方kmでした。

大正時代の都跡村の様子については「都跡村風俗誌」(図書館所蔵、まほろばライブラリーでみる事ができます。)で紹介されています。当時の物量の流れは奈良市より郡山町の方が多かったようです。

都跡村関係の資料は村史作成の為奈良市役所で保管中に、火事で焼失してしまいい今は残っていないそうです。残念な事です。

『都跡』の地名の起り

ところで岡嶋彦三の手記によると「都跡」は和歌が元らしいです。

『村名を撰ぶに付戸長福山嘉次郎(初代都跡村長)、用掛中西八郎平、総代岡嶋彦三の三人で協議し各村仲よきの為に「和合村」を報告したところ、郡長より貴方には平城宮跡もあるからと再考を求められ再度協議、大和名所図会にある源仲正の和歌「葦咲く奈良の都の跡」としては形見の石ずゑ今に残れり』

「都の跡」の句より「都跡」と名称を付け報告すると大いに称賛を得た。これは「奈良市都跡農業協同組合史」に原文が紹介されています。

名付け親が岡嶋彦三との説もあるようですが、現存資料によると三人の合議のようです。

またインターネットで検索すると出てくる源仲正の和歌とは、下の句が異なっています。

「すみれ咲く奈良のみやこの跡として
は礎のみぞ形見なりける」為忠初度百首
今となつては、彦三の和歌の引用元は不明ですが、都跡村の発足に当たっては彦三紹介の句の方が前向きのように思います。



ふれあい会館にある歌碑は、合併50周年記念に創られたものです。



(岡嶋)

◇公民館行事予定◇

※感染症の発生、拡大状況によっては、中止・延期になる場合があります。

◇8月◇

- 15日 なかよし文庫 10:00~15:30
- 19日 移動図書館 14:00~14:45
- 20日 祈りの物語~興正菩薩観尊~②
- 21日 正しく楽しく学ぼう認知症&回想法
- 25日 みあと子育てサロン★ほのぼの★3B体操!
- 28日 夜の学び~世にも奇妙な★日本霊異記~

◇9月上旬まで◇

- 6日 みあときつずチャレンジ隊①
- 10日 高齢者学級②
- 11日 回想法ボランティアのための学習会③

申込不要

なかよし文庫

まいつきだい どうようび じ じ ぶん
毎月第3土曜日10時~15時30分

かいじょう み あとこうみんかん としよしつ
会場：都跡公民館 図書室

- 貸出期間：原則4週間(次のなかよし文庫まで)
- 貸出冊数：5冊まで*お気軽にお借りください。
- ※返却は、開館日の9時から17時ごろまで、いつでもOKです。窓口へお声かけください。
- ※未就学児は、保護者同伴でお越しください。
- ※小学生は必ずお家の人の許可を得てから、気をつけていらしてください。
- ※当日8時の時点で、奈良市に気象警報が発令されている場合は中止です。

※公民館にお越しの際は、検温(37.0度以下)および体調チェックの上、マスクを着用し、上靴、水分補給用飲み物持参をお願いします。体調がすぐれない場合のご来館はご遠慮ください。